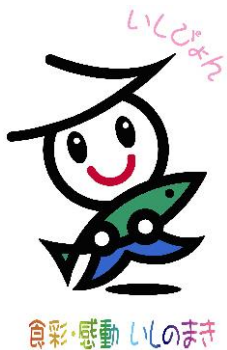


震災から3年 石巻市北上地区での保健活動を通して

宮城県石巻市北上総合支所

佐藤 好美



石巻市の概要と被害状況



人口：約150,966人(H25.12月)
平成17年4月 1市6町が合併

東日本大震災 震度6強
死者 3,269名
行方不明者 441名

(H25年12月末現在：宮城県ホームページより)

北上・雄勝庁舎は全壊
本庁舎も浸水

職員 49名が犠牲

北上地区の概要



人口:2,978人 世帯数:1,006世帯
(H25年12月末現在)



北上総合支所



保健医療センター

北上地区の被害状況

- 死者、行方不明者 268名 (こども22名含む)
- 北上総合支所 職員・近隣住民57名のうち生存者は3名
職員38名中17名死亡・行方不明
- 小学校3校のうち2校が3階天井まで浸水
- 27行政区のうち半数が壊滅状態



震災当時



震災当時



震災当時



被災地のいま

①生活環境

* 応急仮設住宅の状況

整備戸数: **134**箇所 **7,153**戸 空き戸数 **635**戸 (1月末現在)

入居者戸数(H26.1月末現在) 6,485戸 入居人数(1月末現在) 14,713人

* 民間賃貸住宅の状況

入居者件数(12月末現在) 4,604件 入居人数(12月末現在) 12,012人

※ 応急仮設住宅 + 民間賃貸住宅の入居状況

入居者件数 11,089件

入居人数 26,725人

(1月末現在)

復興住宅が
足りない

* 復興住宅 **4,000**戸整備予定

(市街地:3,250戸 半島部:750戸)

* 防災集団移転 **市内47**か所(北上:8か所)



被災地のいま

②健康状態

震災以降・・・特定健診 受診率の低下(特に40～50歳台男性)

特定健診結果 メタボ該当者の増加

血圧受診勧奨値の増加



60歳台の脳血管疾患発症増加

【背景】

- 生活環境の変化（狭い仮設住宅での生活）
- 調理意欲や運動意欲の低下
- 自分の健康より生活再建を重要視
- 治療中のコントロール不良者が多数

【課題】

- 重症化予防と健診受診率の向上

被災地のいま

③こどもを取り巻く環境

- 市内の公園→ほとんど仮設住宅が建設
- 学校が被災→統廃合がすすみ遠距離通学
- 自宅が被災→スクールバスで通学
→内陸部へ転校(転校先でストレス)



- こどもの遊び場がない、
- 体を動かす機会が激減(登下校がスクールバス)
- 不登校数 全国平均に比べ高い

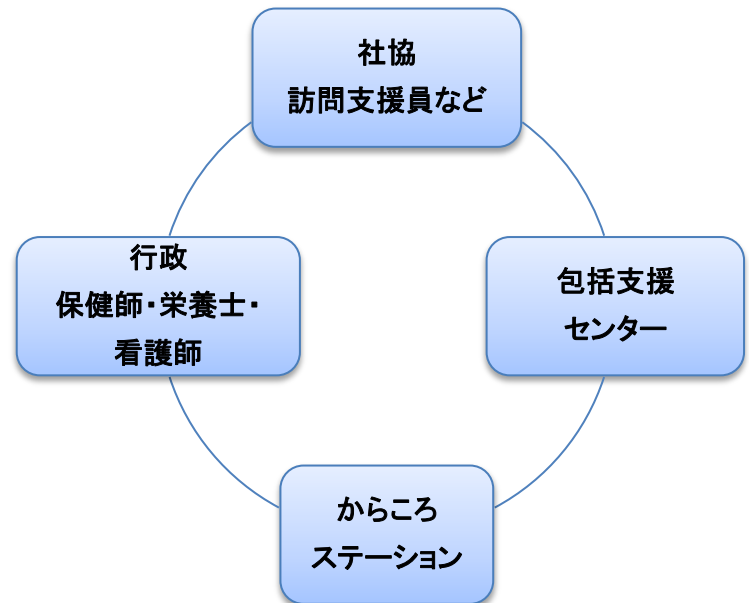


現在の保健活動

仮設住宅支援

【スタッフと役割分担】

- *訪問支援員：仮設内の巡回、訪問
- *包括支援センター：高齢者の支援
- *からころステーション：メンタルケア
- *行政(栄養士)：栄養相談会等の実施
(看護師)：医療情報の提供
(保健師)：関係機関との連絡調整
要支援者への継続訪問
エリアミーティング開催



こころのケア対策

【課題】

災害後メンタルヘルスの問題
独居アルコール男性の問題



孤独死や自殺のリスク

【対策】

こころの相談会
家庭訪問
サロン♡ひまわり
仮設健康相談会
関係機関との連携など

自殺者 H24年度に比べ
H25年度増加見込み

サロン♡ひまわり

【目的】

自殺対策の一環として、傾聴ボランティアが中心となり市民に心なごむ場を提供する。

【開催場所】

保健センター エントランスホール

毎週月曜 10:00~15:00

開催回数：34回

来所者数：1,001人（1回平均 29.4人）

2月末現在



男性向け健康教室

【目的】

震災後の環境の変化により閉じこもりがちな男性を対象に教室を開催し、被災者の心と体の健康づくり、仲間づくりを支援する。

【開催場所】

仮設住宅集会所

【内容】

お茶のみ、調理など

【スタッフ】

保健師・栄養士・仮設訪問支援員
包括支援センターなど



男性向け健康教室

今度はパスタを作りたい

毎週、教室を開いて
もらいたい



また参加したい



男性向け健康教室



参加者 6人程度
平均年齢 73歳



備え

災害時に備えて備蓄
乳児用オムツ、救護バック、
筆記用具など



震災から3年経過し感じていること

①平常時の保健活動の大切さ

→民生委員、区長、自治会長ら地域のリーダーと平常時からつながり、顔が見える関係をもつ

②人とのつながりが大切

→北上でのつながりを求めてサークルに参加

③被災地でも震災のことが風化し始めている

→温度差を感じる

④職員の疲弊

→職員の健康も心配

課題

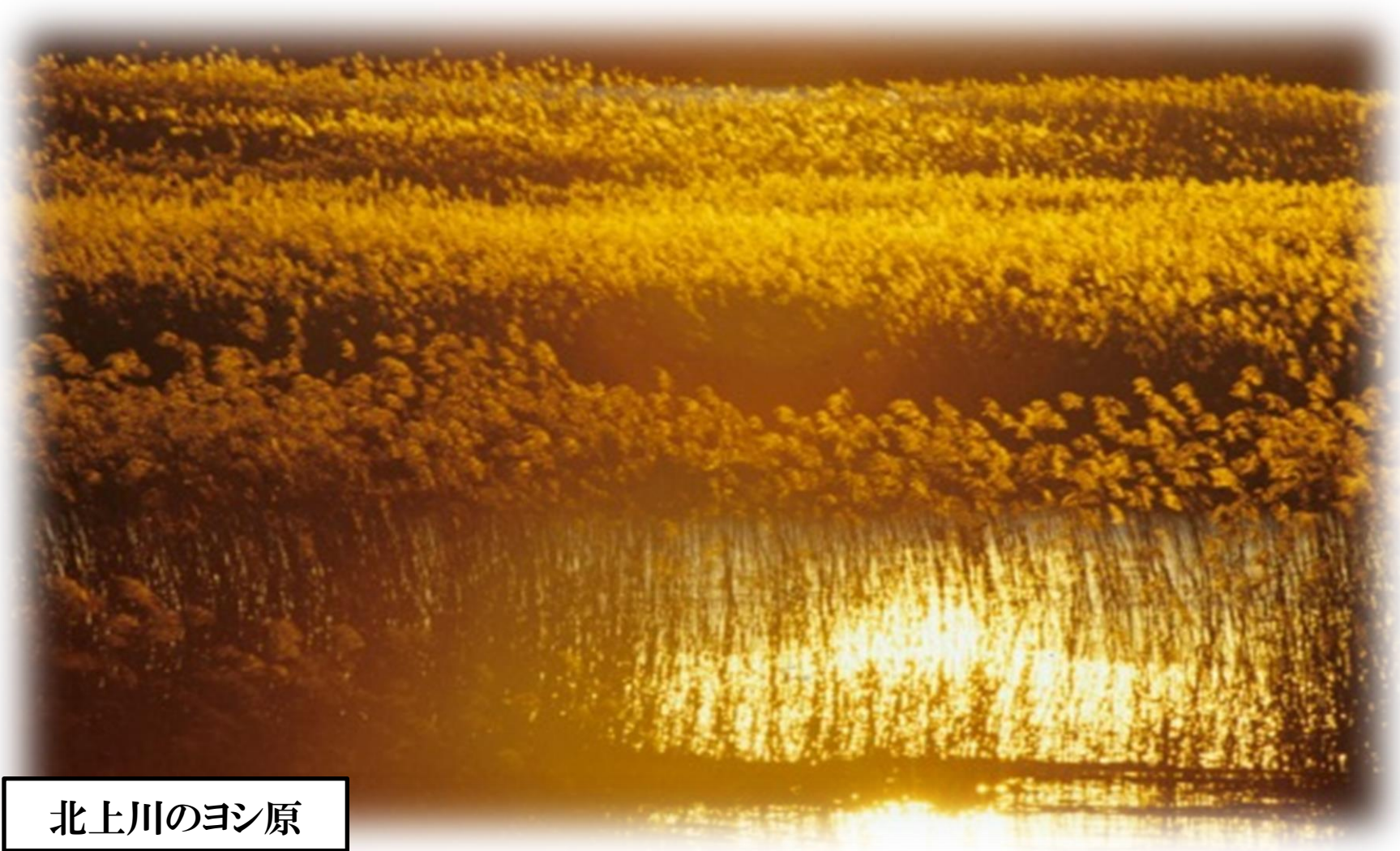
* 行政組織の防災対策

- 石巻市地域防災計画作成中（地震、津波災害等さまざまな対策）
- 本庁、支所との連携について明確ではない
- 今後はシミュレーションが必要

* 保健師の役割について

- 本庁、6つの総合支所に分散配置のため、指示系統が統一できない
- 震災後採用の保健師が増加
- 指示命令系統を明確にしておくこと
- 災害時保健活動について（特に初動時のマニュアル）

ご清聴ありがとうございました。



北上川のヨシ原